

Machining JP 新産業メディア CORE マシニングコア

メールマガジン (2010年11月号 Vol.5)

(発行所) (株)エルエルアイ出版

〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-27-4 靴下会館7階

TEL 03-3868-0738 FAX 03-5809-3650

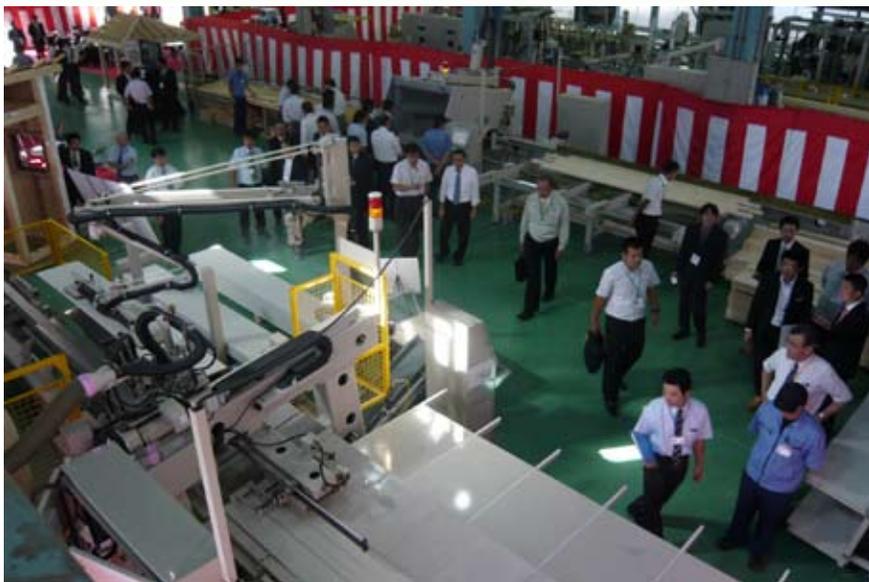
<http://www.lli-publishin.com/>



宮川テクノフェア 2010 全国からプレカット加工業者ら 150社 350人が来場

プレカット&テクノロジーの宮川工機(株)(宮川嘉朗社長)は9月28、29の両日、宮川テクノフェア2010を愛知県豊橋市の本社特設会場で開催した。同フェアは今回で通算13回目に当たり、2年に一回のペースで続けられている同社の新製品発表会としての催し。今回の見どころは2×4工法対応羽柄材高速切断機・MPC-25&サイディング加工機・MPD-13の新開発機械の加工実演を主に、金物工

法兼用機・MPS-VX MWと多種加工機・MPS-54を連結して能力を最大限に引き出した横架材ライン、省エネ省スペース設計の柱材加工機・MPS-35や、次世代3DプレカットCAD・MP-CAD8及び新オプションソフト、環境配慮の工場全体のランニングコスト低減を実現するエコ提案、CO2 25%削減運動キャンペーンに参加する同社からチャレンジ25・工場コストダウンの新しい生産管理システムにおける提案・FA-ネットなどが公開された。



宮川社長は「全国木工機械工業会の機械出荷額をみると、ピーク時の1,300億円あった木工機械が昨年(2009年)だけで200億円を割り込み、10分の1近くにまで大幅に落込み、極めて最悪の状況の中での催事となったが、プレカットユーザーが今求める要求を先取りし、その成果を見せる機会としてのデモンストレーションを展開するもので、更に次世代に向けたCO2問題や地球環境保全のエコ環境について、有効資源活用での木材に直接結び付く役割を

担っている機械メーカーの義務からの研究開発と生産に関わる管理システムの提案などの取組みを順次提供していくこと」を考えている。

注目はランニングコスト削減に直結する省エネ効果としてのエコ照明で、今回の会場A棟東半分の400W水銀灯33灯を190W高輝度メタルハライドランプに交換し、電気代換算で年間50万円を25万円程度に削減でき、初期投資を2年未満でペイする計算。

【詳細はマシニングコア10月号】